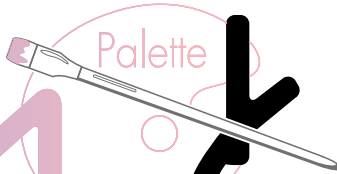


# ぱれっと



10月  
2026 October  
vol.314

## 今月の表紙写真

真剣な眼差しと、  
前向きな笑顔。  
稲の成長とともに、  
私たち営農指導員も  
生産者の皆さまを  
支える力へ成長して  
いきます。



## 特集

## 営農振興計画 2年目の活動紹介 第2弾

～JA岡山米の品種転換と  
生産・販売・環境への新たな取り組み～

今月の  
折り込み

令和9年産水稻用土づくり肥料注文書  
令和8年度柑橘苗木注文申込書  
令和9年作付用水稻種子注文申込書



© 2026 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L6638F

岡山のがんばる農業人をご紹介

農を担う

裳掛地区 ブドウ農家

久本 隆博 さん

10ページ



# ザルビオの取り組みについて

## 事例1 ザルビオを活用している生産者を 営農指導員がサポート

令和8年6月、建部営農センター管内では、JA岡山として初めてザルビオと農機具を連携する試みをスタートしました。生産者の皆さまにザルビオのアカウントを取得していただき、営農指導員とデータを共有しながら、スマート農業を進めていくという取り組みです。

現在、ザルビオで解析されたデータを活用し、田植え機による「可変施肥」の実証に挑戦しています。



建部  
営農センター  
き なし りゅう さく  
木梨 竜策  
センター長  
から一言

ザルビオの衛生データを用いることで、今までは一つ一つのほ場を回り生育調査を行っていましたが、時間の削減ができ、今後はデータに応じた可変施肥を行うことで生育状況・収量が揃ってくるのではないかと期待しています。

## 事例2 ザルビオを活用して、 研究会をサポート

備南営農センターでは、営農センターでザルビオのアカウントを取得し、JA岡山備南里海米研究会をサポート。出穂予測や刈取適期予測を研究会へ共有することで、研究会全体の品質や収量向上に役立てます。



## ザルビオ導入にあたって

生産者ごとに求めるものを理解することが重要です

スタッフが  
多くて指示が大変

大勢のスタッフへ施肥の指示を出すのは大変。同じやり方で肥料をまきたい。

品質や収量をもっと高めたい

作物の育ち方の差を解消したい。

作物の成長を  
こまめに  
チェックしたい

生育ステージの変化をきめ細かに管理したい。

遠方のほ場への  
移動を減らしたい

自宅では場の状況を把握し、移動時間を最小限にして効率的に作業したい。

## 今後の展開は…

ザルビオの予測データと、営農指導員が現場で確認した情報を照らし合わせ、より精度の高い判断ができるよう日々調整を重ねています。データと現場の知恵を掛け合わせ、地域に根ざした確かな技術として磨き上げてまいります。

1

ザルビオで  
状態を判断

2

営農指導員が  
現地を確認

3

現状との  
誤差を修正

4

データとして  
蓄積・学習

## 将来目指す姿

ベテラン営農指導員の知識や経験を次世代の営農指導員へも引継ぎ、データに基づき誰もが同じレベルで指導できる未来を目指します。

# 営農振興計画 2年目の活動紹介

第2弾

～JA岡山米の品種転換と生産・販売・環境への新たな取り組み～

先月号に引き続き、JA岡山の「営農振興計画」における重点実施事項の取組状況をご報告します。今月号では、地域農業の柱となる「特色のあるJA岡山米への品種転換と生産拡大」、持続可能な農業を目指す「地球にやさしい環境負荷低減に向けた農業生産」、そして「米の集荷率向上に向けた新たな販売流通の仕組みづくり」についてご紹介します。

## 農畜産物の生産振興

重点  
実施事項  
①

## 特色のあるJA岡山米への品種転換と生産拡大

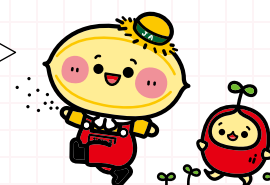
数値目標等(3カ年)

【ザルビオ導入面積】  
496ha→750ha

### ①ザルビオ導入について…

JA岡山では、米の安定多収技術の確立と普及を目指し、近年活用が進む人工衛星の画像解析技術を用いた「栽培管理支援システム(ザルビオ)」の導入を推進しています。令和7年度からは、ザルビオのアカウント連携と診断結果に基づく情報分析を本格化させ、TAC(営農指導員)による個別指導を通じて、組合員の皆さまの生産性向上をより強力に支援してまいります。

## ザルビオのこれまでの経緯をご紹介します!



令和8年

JA岡山における  
農機連携  
スマート農業の  
本格展開



令和7年

ザルビオの  
提案と  
栽培サポートの  
展開



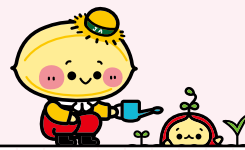
令和6年

営農センター  
職員向け  
研修の開始





## 沖田営農センターに話を聞きました



重点  
実施事項  
③

### 地球にやさしい環境負荷低減に向けた農業生産

数値目標等(3カ年) ※沖田営農センター

【普及拡大面積】里海米 7ha(拡大)

環境循環型農業の取り組みに向けて、瀬戸内かきからアグリ事業の「里海米」等の普及拡大を図ります。

※環境循環型農業…自然の流れに沿って資源等を循環させ、化学肥料等の使用を抑えつつ持続可能な生産を目指す農業手法です。

きっかけ(令和元年～令和2年頃)

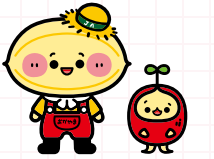
きっかけは、令和元年ごろ、酒米を栽培する生産者から「かき殻資材を使ったところ、稲の根張りが良かった」との声を聞いたことでした。そこで翌年から、大規模農家を中心に、肥料・農薬の予約注文に合わせて営農担当者が訪問し、取り組みを紹介。うるち米だけでなく、酒米でも里海米として取り組めるよう関係部署を通じて働き掛け、普及を進めてきました。

現在(令和3年～今まで)

令和3年には、JA岡山中央里海米生産部会を設立し、現在は15人が所属しています。沖田営農センターでは朝日、にこまる、雄町など特定の品種に限定せず、取り組めるようにしているのが特徴です。かき殻資材を施用する基本を守れば、それ以外の栽培方法は生産者それぞれのやり方を尊重しています。細かな制約を設け過ぎず、取り組みやすい環境を整えることも、普及を進めるうえで大切にしています。当初は資材の利用を促すことから始まった取り組みでしたが、現在は「付加価値のある米を作る」という意識を生産者に持ってもらうことも重視しています。ほ場に「里海米」の看板を掲げることで、生産者自身が取り組みを意識し、ほ場管理への意欲向上にもつながっています。



## ここからは、高松営農センターに話を聞きました



数値目標等(3カ年) ※高松営農センター

【特色のあるJA岡山米作付け面積】  
「つやきりり」50ha(新規拡大)

水稻の高温対策品種として管内中北部エリアの「きぬむすめ」、南部エリアの「にこまる」「つやきりり」を設定し、需要に応じた生産拡大と収量性・品質の向上を図っています。

### 令和7年度の取り組み「つやきりり」を知ってもらおう

#### ① 地域ふれあい活動

令和7年11月に高松営農センターで開催された、地域ふれあい活動では、「つやきりり」の試食会を開催し、200食を提供。地域の皆さまに広く味わっていただきました。



アンケートでは  
**90.5%**の方が  
「良い」と評価!



#### ② 「つやきりり」振興大会

令和7年12月に開催し、品種の特性や令和7年産の生育調査結果について報告しました。また、試食も行い食味や香り、粒立ちの確認もしてもらいました。



振興  
大会での  
主要内容

- ☐ 「つやきりり」の品種特性について
- ☐ 令和7年産の生育状況について
- ☐ 試食による食味・香り・粒立ちの確認

### 令和8年度の取り組み「つやきりり」の普及拡大に向けて

#### ① 水稻栽培講習会の開催

5月に水稻栽培講習会を2会場で開催し、約50人の生産者の方にご参加いただきました。生産者の方に広く呼びかけることで、年間の栽培管理などについて周知を図り、結果として1,517<sup>キロ</sup> (約40ha分)の種もみの注文をいただくことができました。

高松営農センター令和8年度  
「つやきりり」  
10ha拡大の目標を  
大きく上回る結果に!

#### ② TAC指導員によるほ場巡回

出荷契約をいただいている生産者の方を中心に、TAC指導員がほ場を巡回しました。穂の障害の有無の確認や、追肥の必要性について指導を行うなど、品質向上に向けた支援を実施しました。



#### ③ 収穫・検証・次年度へ

10月上旬からは、いよいよ稲刈りが始まります。収穫した後の収量などを振り返り、良かった点や課題をしっかりと整理して、次年度の生産拡大や改善へとつなげていきたいと考えています。こうした活動を通じて、農家の皆さまの所得向上にしっかり貢献できるよう取り組んでまいります。

収量・  
品質確認

改善点  
整理

次年度の  
普及拡大へ

➡ 農家の所得向上へ!

## 販売力の強化と販売体制づくり

重点  
実施事項  
①

### 米の集荷率向上に向けた新たな販売流通の仕組みづくり

数値目標等(3カ年)

【実需者直接販売】  
集荷目標 里海米  
5,300俵(3年後)

「里海米」の有利販売に向けた実需者との結び付き強化を図ります。

販売面でも、少しずつ成果が表れています。特に酒米では、里海米としての付加価値を加えたことで、酒造会社との結び付きにつながりました。また、「にこまる」などについても外部企業から関心が寄せられ、生産者を交えた意見交換を行う機会も生まれています。こうした交流を通じ、生産現場の状況や生産者の思いを伝えながら、里海米の価値

を販売につなげる取り組みを進めています。今後は、新たな担い手や生産者にも声を掛けながら、作付面積や参加者を広げ、まずは安定した生産量と出荷量の確保を目指します。その上で、販売先との結び付きをさらに強め、里海米の知名度向上につなげていきます。

【沖田営農センター里海米出荷量】

(俵)

| 令和2年  | 令和3年  | 令和4年  | 令和5年  | 令和6年  | 令和7年  |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1,458 | 3,462 | 4,209 | 3,852 | 4,070 | 7,045 |



沖田  
営農センター  
あべ こういち  
阿部 浩一  
センター長  
から一言



#### 「里海米」の取り組みについて

里海米は作付面積の目標を達成するなど、着実に取り組みが広がっています。これまで築いてきた生産者とのつながりを大切に、さらなる面積拡大と産地の発展につなげてほしいです。営農センターとしても、新たな提案を含め、取り組みを引き続きサポートしていきます。

高松  
営農センター  
なか おただのり  
中尾 忠則  
センター長  
から一言



近年の温暖化により、イネにおいて登熟期間の平均温度が高くなり米粒が白濁した白未熟粒等の発生が多くなり、検査等級の低下が問題となっています。「つやきりり」は「ヒノヒカリ」に比べて高温耐性があり、倒伏にやや強く、収量・品質面でも優れています。また、成熟期も「ヒノヒカリ」と同程度であることから「ヒノヒカリ」の代替品種として期待しています。提案型営農指導により農業所得向上に繋がるよう取り組んでいきます。



## 農を担う

未来のブドウ産地を  
守るため若手へバトンを  
つなぐ！裳掛地区  
ブドウ農家ひさ もと たか ひろ  
久本 隆博さん

昭和30年生まれ。  
 岡山ぶどう部会（裳掛支部）に所属。  
 ブドウを栽培するほか、  
 自家消費でミカン、梨を栽培。  
 座右の銘は「初志貫徹」。  
 趣味は野球観戦とアマチュア無線の  
 再開を検討中。

家族とブドウを食べ比べ！  
楽しい時間を過ごしました。取材日には、  
たくさんの  
孫たちが遊びに  
来てくれました。8月14日、裳掛地区の  
久本 隆博さんに  
お話を伺いました。

就農したきっかけは？

私の両親は、葉タバコから始まり、ミカン、梨、ブドウと品目を転換しながら農業を営んできました。一方で、30代の頃、私は乳業メーカーに勤務しながら、休日を利用し、西洋梨「パスカラサン」の栽培に熱心に取り組んでいました。しかし、転勤によって栽培の継続が難しくなり、以後の管理を父に託すことになりました。その後、地元に戻った時には、栽培していた梨園はブドウ園へと変わっていました。

再び地元に戻ってからは父のブドウ栽培を手伝うようになり、会社を定年退職したタイミングで、本格的に就農しました。

農業を始めてからは？

現在は、父から引き継いだ園地に加え、親戚から預かった園地も管理しており、現在は約80坪の面積でピオーネやシャインマスカットを中心に栽培しています。また、出荷時期を分散させる目的で、クイーンニーナや紫苑の栽培にも取り組み始めました。

栽培面積が増え、自分一人での管理は厳しいため、会社の知人や同級生、親戚に協力を得ています。特に同級生は農繁期に欠かさず駆けつけてくれます。年間延べ半年ほど作業を支えてくれています。さらに、来年度から正式に研修生として迎える新規就農予定者も現在は手伝いに来ており、作業を教えながら、本格的な受け入れ準備を進めています。

10年先を見据え、若い世代にも  
引き継ぐ準備を進めたい

新規就農者の受け入れについて

私は毎年、県内で新規就農者の受け入れが活発な産地を視察しています。そこで目の当たりにしたのは、リーダー層が長年かけて築き上げてきた体制でした。受け入れ態勢の整備には5〜10年、時には20年近くもの歳月を要します。その難しさを理解

したからこそ、自身の産地においても時間をかけて取り組むべき課題だと感じました。

園地の前所有者から「若い者につけてもらいたい」という強い要望を聞き、私もその考えに深く共感しました。将来、自身が年を重ねたとき、周囲にブドウ栽培をする人がいなければ、産地は元気をなくし、地域維持のための草刈りすらままならないかもしれません。こうした危機感を抱く中で、若い世代へ園地を引き継ぎたいとの決意が、今回の受け入れを決断する後押しとなりました。

新規就農者自身も、ブドウ栽培で生計を立てられるのかという不安があるはず。私自身、特別な技術があるわけではありませんが、3〜5年の研修期間をかけて、「経営として成り立つ農業」をしてほしいので、栽培技術だけでなく、面積の確保や売り方、収入確保の考え方など、農業経営のノウハウも併せて伝えたいです。

他の生産者が、後に続くような道筋をつくっていききたい

今後の抱負は？

大げさに言えば「次世代へつなぐ」とですが、個人的には自分の園地を



5年程前に建てたログハウスです。ここは景色が良く、瀬戸内海、小豆島やその向こうに淡路島も見える場所で、作業拠点兼憩いの場として建てました。出荷時期の作業場として使うほかに、新規就農者を迎え入れることになったため、休憩場所や若手の会の集まりなどに使ってもらいたいと思っています。

廃園にせず続けてもらいたいという思いが第一にあります。自分が80歳になっても少しは作業に来られるよう、隣に若い世代のブドウ農家がいてくれる状態にしたいと考えています。自分がモデルケースになり、他の生産者の方々にも「自分もそうありたい」と思ってもらえるような道筋をつくっていききたいです。

聞き手…JA岡山広報担当



張りのあるブドウに仕上がったシャインマスカット





お気軽に  
お問い合わせ  
ください  
営農部指導課  
☎086(225)3224

独特の香りは食欲  
を増進！家庭菜園でも  
人気があります♪

営農部指導課 岸野 真美



## 野菜

# ニンニク

### ニンニクについて

ニンニクは古くから世界で親しまれてきた栄養豊富な野菜です。特有の強い香りの成分であるアリシンやビタミンB類を多く含む疲労回復に効果があります。

また、においが少ないジャンボニンニク（無臭ニンニク）は、ニンニクとは違う種のリーキの仲間になります。広く平らな葉はリーキによく似ていて、大きく育つので見た目のインパクトもあり家庭菜園でも人気があります。株が大きく育つので、普通のニンニクより広めに株間を取りましょう。

### ニンニクの栽培

ニンニクはヒガンバナ科の野菜です。生育適温は15℃～20℃で冷涼な気候を好みます。25℃以上になると休眠状態に入ってしまうため、気温が高い時期に植え付けても芽が出ません。また、植え付け時期が遅すぎると春先に生育期間が不足して球が肥大しないので、ニンニクは10月上旬から10月下旬の適期に植え付けることが上手に育てるポイントです（資料1）。

### 種球の準備

ニンニクには暖地向きと寒地向きの品種があります。冬期の低温要求量が違うなどの生育特性があるので、地域に合った品種を選ぶことが大切です。

また、種球は病気等の罹病の心配のない市販のものを購入しましょう。できるだけ大きく健全な種球を選び、選んだ種

球を一片ずつばらす時も、カビや変色が発生していないか確かめ、小さすぎるものは外します。薄皮は付けたままにしておきます。

### ほ場の準備

畑は日当たりがよく肥沃な粘質土が適します。2週間以上前には、堆肥を10平方メートルあたり25㎏、苦土セリカ等を1.5㎏施用し深く耕しておきます。植え付けの1週間前までにJA岡山専用有機肥料等を10平方メートルあたり1㎏施し土壌に混和した後、畝幅135㎝、高さ10㎝の畝を作ります（資料2）。

排水の悪いほ場では高畝にしましょう。マルチを張ると雑草対策と土壌水分保持に有効です。

### 植え付け

条間20㎝の4条植えで、株間12～15㎝、りん片の芽の出る方を上にむけて深さ5～6㎝に植え付けします（資料2・3）。

ニンニクは通常なら2週間ほどで発芽するので、植え付けた後は発芽するまで乾燥しないように灌水します。

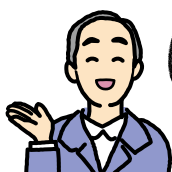
その後も、冬場に降雨が少なく晴天が続く場合は灌水をします。球の成長が盛んになる3月以降は気温が上昇し乾燥気味になるので、晴れた日にはたっぷりと灌水しましょう。

### 追肥

追肥は11月下旬頃と春先の芽が伸び始める2月中旬頃に、化成肥料14-8-8等

## 花き

# クルクマ（花ウコン）



夏は大丈夫、  
寒さに注意の  
クルクマ

営農部指導課 中川 雄一

### クルクマ（花ウコン）

8月頃から次々と開花したクルクマ、今も開花株が売られているかと思いますが、来年も元気に開花させるためには、保温管理が必要です。

この花は、1990年の大阪花の万博で紹介されて以降、クルクマ・シャロームとして夏の切り花や鉢物用に栽培されているものを中心に広まり、今では輸入に加えて国内で育成されたさまざまな品種も見られるようになっています。

元々、ハスの花に似ているため仏花として高い需要がありましたが、このごろはアレンジメントやブーケなどさまざまな用途に使われ、鉢物としても人気があります。

ちなみに、食用にするウコンもクルクマです。アラビア語で黄色を意味するクルクンから付いた名前と、黄色い根茎を、昔は染料に使ったところからといいます。

花言葉は「忍耐」「乙女の香り」など、高温多湿の過酷な環境の中で長期間咲き続けること、その美しさなどから付きました（資料6）。

### この花の特性など

東南アジアなどを中心に熱帯地域が原産で高温には強く、日本の夏でも遅く開花します。反対に低温には弱いので、秋には気温が10℃を下回らないうちに球根を掘り上げ、貯蔵する必要があります。また、まだ温度が低い時期に球根を植え付けると、芽が出るのに長期間かかります。切り花にして日持ちがよく、暑い時期に重宝です。それは花だと思つて鑑賞する部分が実は花弁でなく「苞」という部分だからで、よく見ると苞の間に小さな花が咲き、これは数日でおれ、次が咲きます。実はセンニチコウやポインセチ

アも色づくのは苞、水芭蕉やアンスリウムの鑑賞部は仏炎苞といいます。クリスマスローズ、スターチス、シヌアータ、アジサイの色づくのはガクです。比較的に保ちがよい花が多いですね（資料7）。

### 栽培管理（資料8）

品種によっていくらか違いがあるようですが、代表的なシャロームを例に説明します。この時期なので球根貯蔵から！

### ○球根の掘り上げと貯蔵

クルクマの球根は13℃以下では腐る恐れがあるので、15℃を目安に冬季貯蔵します。鉢植えは冬の間温度確保できるところがあればそのまま移動します。

露地植えは、秋、地上部が枯れてきたら、晴れが続いて土が乾いたのを見計らって掘り上げます。特殊な形の球根を折らないように水洗いして葉を着けたまま13℃以上のところで乾燥、葉が分離するようになったら、発泡スチロール容器にバミキュライトなどを詰めたところに埋め込んで（発芽体を上）保温します。

### ○植え付けとその後の管理

連作にならない日当たりのよいところを選び、柔らかく肥沃な土壌を好むので、10平方メートルに、腐葉土（良質堆肥）20㎏、苦土セリカ等1㎏、緩効性肥料1㎏ほどすき混みます。

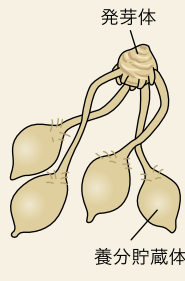
畝面幅80㎝ほどの畝を作ります。

高温を好むので適期は5～6月、梅雨の間はトンネ

### 資料6 クルクマの形態

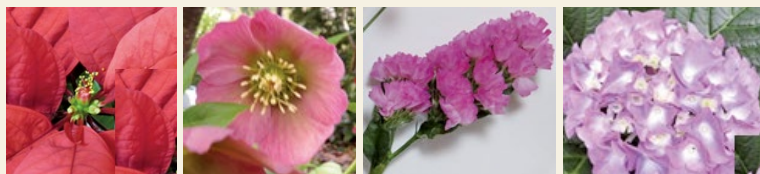


開花した白・紫系品種 苞からのぞいた花 株元から新芽



球根の形態

### 資料7 花弁以外を鑑賞する花の例



左からポインセチア（苞と中心の花）、クリスマスローズ、スターチス、アジサイ

### 資料8 クルクマの作業スケジュール

| 月    | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| 作業   |   |   |   |   |   |   |   |    |    | 貯蔵 |
| 条件など |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |

■ 植え付け ■ 開花 ▼ 掘上げ — 掘上げ貯蔵期間

低温に弱いので、植え付け後は梅雨明けまでトンネルをかけて保温します。また、11月中に球根を掘り上げ、15℃を目安に低温を避けて貯蔵します。

を10平方メートルあたり約500㎏ずつ施します。3月以降に追肥を行うと、裂球や病気の要因になるので注意しましょう。

### 芽かきと花蕾摘み

植え付け後、芽が伸び始めて葉が10～15㎝の頃、1つのりん片から2つ以上の芽が出てきたら、小さい方の芽（わき芽）を早めに根元から抜き取ります（資料4）。

また、4月下旬から5月にかけて花蕾が出てきたら、手で摘み取ります。トウ（花蕾）は一斉に伸びないので、時々見て

回って摘み取りましょう。

### 収穫と貯蔵

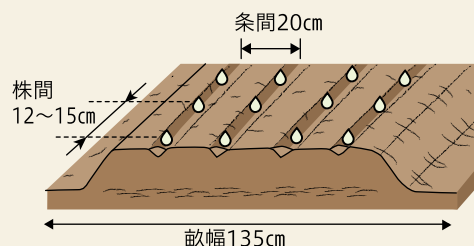
葉が4～5割黄変した頃、球が十分に肥大して球の底部（尻部）が平らになったら収穫適期です。早過ぎると貯蔵性が劣り、遅過ぎると裂球の原因になります。晴天日に抜き取り、すぐに根をハサミで切り取り、畑で2～3日乾かします。その後、茎を20～30㎝残して切り、4～6球ほどを束ねて、風通しの良い日陰（軒下等）に吊るして貯蔵しましょう（資料5）。

### 資料1 ニンニク栽培 作型の目安

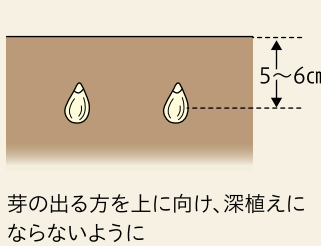
| 月    | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| ニンニク |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |

← 植え付け時期 収穫時期 →

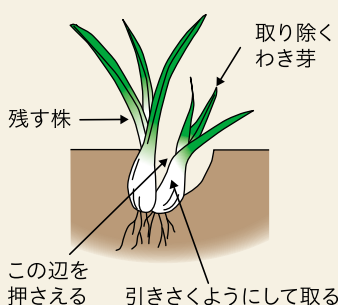
### 資料2 畑の準備



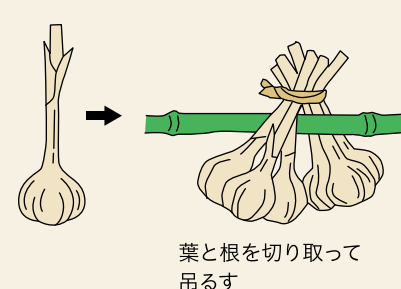
### 資料3 植え付け方法



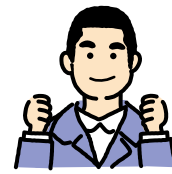
### 資料4 芽かきの方法



### 資料5 貯蔵方法







来年にむけて  
土づくりを  
行いましょう

宮農部指導課 祇園 将人

今年は雨の多かった梅雨が明けてから  
天気が一変し、高温・乾燥が続いたよう  
に思います。10月は多くの果樹で基肥の  
時期なので施肥、土づくりを行いませ  
う。果樹は収穫が終わっても翌年へ続  
きます。葉が落葉まで病害虫被害等を受  
けず健全な状態で光合成をすることで  
来年への貯蔵用分の蓄積ができます。よ  
く観察しながら病害虫が発生したら薬  
剤防除、乾燥が続くようなら灌水をし  
ましょう。

10月も実のりの秋、ということであ  
るが、収穫が続きます。今月もイチジク、柿、  
ブドウ、梨、みかん、キウイフルーツ等  
を収穫します。収穫が終わるとヨー  
ロップ化成S604等の即効性の肥料  
を礼肥として施用し、早めに効くよう  
に灌水しましょう。

## 基肥の施用について

基肥に使う肥料は、チッソ・リンサン・  
カリの3要素が入ったものを施用しま  
す。果樹は肥料により味が変わりやす  
い作物です。基肥には、JA岡山専用  
有機肥料(10-7-7)のような有機入り  
化成肥料を施用しましょう。(資料9)  
に主な果樹の施肥一覧表を掲載してい  
るので参考にしてください。我が家の果樹  
の様子を確認し、樹勢の強弱にあわせ  
て施肥量を増減してください。他にも石  
灰やマグネシウム、微量元素(マンガ  
ン等)を施用します。

## 土づくりについて

果樹は野菜・水稲と違い永年樹です。  
野菜などは作が終わると畑をトラク

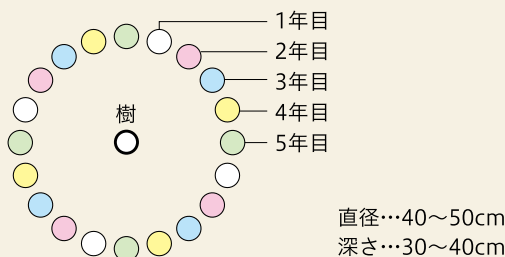
資料9 果樹品目別基肥施肥量一覧表

| 果樹の<br>種類 | 基 肥        |             | 追 肥        |             | 基肥施用量(kg) |      |                               |
|-----------|------------|-------------|------------|-------------|-----------|------|-------------------------------|
|           | 時 期<br>(月) | 施用割合<br>(%) | 時 期<br>(月) | 施用割合<br>(%) | 1樹当たり     |      | 成 木<br>(10m <sup>2</sup> あたり) |
|           |            |             |            |             | 1年生       | 3年生  |                               |
| モモ        | 10         | 80          | 8~9中       | 20          | 1         | 2    | 1                             |
| ブドウ       | 10         | 80          | 収穫後(9)     | 20          | 1         | 3    | 1                             |
| 梨         | 11~12      | 70~80       | 6,7,9      | 20~30       | 1         | 2    | 1.8                           |
| 柿         | 12         | 70~80       | 6下~7上      | 20~30       | 1.5       | 2    | 1.5                           |
| 梅         | 11~12      | 80          | 7          | 20          | 1         | 1.5  | 1.5                           |
| スモモ       | 10~11      | 80          | 9          | 20          | 1         | 2    | 1                             |
| イチジク      | 11~12      | 60          | 6上,8上      | 40          | 0.5       | 0.8  | 1.5                           |
| キウイ       | 10~11      | 70          | 3,6,9      | 30          | 1         | 3.5  | 1.8                           |
| 栗         | 11~12      | 60          | 7上,9下      | 40          | 0.5       | 0.75 | 2                             |
| リンゴ       | 11~12      | 80          | 収穫後(10)    | 20          | 1         | 2    | 1.8                           |
| ビワ        | 9上         | 60          | 2中,6上      | 40          | 0.5       | 1    | 2.5                           |
| ミカン類      | 3~4上       | 60          | 6上,11上     | 40          | 0.5       | 1    | 2                             |

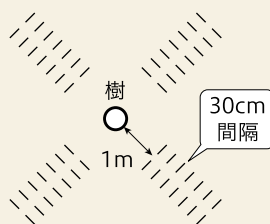
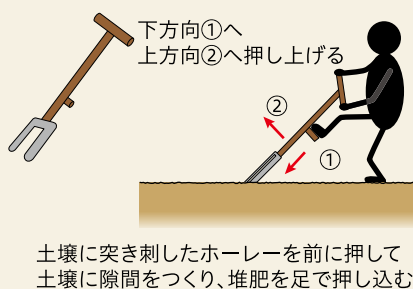
ターで耕すことができますが、果樹の  
場合は樹があるので耕すことができませ  
ん。なのでほおっておくと土壌が踏み固  
められ、どんどん固くなってしまいます。  
それを防ぐために土づくりを行います。  
土づくりをするにはまず堆肥を用意し  
ます。(10平方メートルあたり約20kg)(資料10)  
のようにタコツボ深耕を行う場合には、  
40~50cmの穴を掘り、掘った土に堆肥を  
混ぜて埋め戻します。(余った堆肥は上  
振りしてください)ホーレーを持ってい  
る場合は、(資料11)のようにホーレーを  
刺して前に押し込んだときにできた隙間に堆  
肥を押し込みます。この作業を行うこと  
で、固くなった土が崩れ、そこに堆肥を

入れることで柔らかくなり土壌が改良さ  
れます。また、細い根が切れることで新  
しい細根が発生します。  
注意するのは樹のすぐそばは太い根が  
あるので太い根を切らないように離れた  
所から行う事、一気にぐるり一面行うと  
根の切りすぎで逆に樹が弱ってしまうの  
で4~5年かけて行う事、行う時期は  
10月中旬~11月上旬に行う事です。そ  
れ以上遅い時期におこなうと気温・地  
温が低いと根を切るだけ切って新しい  
細根がすぐ枯れこむだけでマイナスにな  
るので遅くなったら掘ったりしないよう  
にしましょう。また、梨やみかんのように  
にまだ実がぶら下がっている果樹はこの

資料10 タコツボ深耕



資料11 ホーレー（中耕鋤）の方法



時期は根を切らないようにしましょう。  
**みかんの収穫について**  
10月上中旬になると温州みかんの極  
早生(上野早生・日南一号等)は収穫時  
期になります。極早生は、5分着色以  
上(果実が半分以上黄色になったころ)  
になると収穫を始めてください。みかん  
は、1本の樹に多くなっている方が着色  
が早く進み、なりが少ないと着色の進  
みが遅くなります。  
早生種(宮川早生・興津早生等)以降  
はほぼ完全着色になってからが収穫期で  
す。時期的には11月上旬以降になります。



瀬戸内営農センター今月の推し!

キャベツ  
を使って

# キャベツとシーフードの 塩麴炒め



©2017 JA-KYOSAI



## 材 料 (2人分)

|      |      |        |        |
|------|------|--------|--------|
| キャベツ | 1/4個 | カニカマ   | 30g    |
| ニンニク | 2片   | ごま油    | 大さじ1   |
| エビ   | 6尾   | 塩麴     | 大さじ1   |
| イカ   | 80g  | 砂糖     | 小さじ1/2 |
|      |      | 塩・こしょう | 適量     |

## 作り方

- ①キャベツはざく切りに、ニンニクは皮をむいてみじん切りにする。エビは殻をむいて背わたを取り、イカは切り込みを入れて一口大に切る。カニカマは手でざっくりとほぐす。
- ②エビとイカに塩、こしょうを軽くまぶす。
- ③中火で熱したフライパンにごま油を引き、ニンニクとエビ、イカを炒める。エビとイカの色が変わってきたらキャベツと塩麴、砂糖を加えて炒める。
- ④キャベツがしんなりしてきたらカニカマを加えて塩・こしょうで味を調え、仕上げにごま油(分量外)をひと回しして完成!

＼キャベツは冷凍保存が便利!／

キャベツはさっと洗ってお好みの大きさにカット。水気を拭き取り冷凍用の保存袋に平らに入れ、空気を抜いて冷凍しましょう。2週間程度保存可能です。

塩麴の旨みで、シンプルだけど  
お箸が止まらない一品に♪

編集後記

あぐろぐらむ



## カメラのファインダーを のぞいて、見つけて!

JA岡山では、10月16日までフォトコンテストを開催中です。「めぐみを感じる暮らしの風景」をテーマに、身近な暮らしの出来事や、食と農の中で出会えたシーンを写真に撮って送ってください。

編集担当になって3年半が経ちました。写真は取材先で必ず、記事の構成を考えながら撮影をしています。今までに、たくさんの写真を撮ってきました。その中で、農家の皆さまが農業に真剣に取り組む眼差しや、収穫の喜びが溢れ出る表情、自然豊かな風景などカメラのファインダー越しに、数多く見つけることができました。

ファインダーとは、写真を撮るときに写す範囲や角度、ピントを確認するためののぞき窓。英語で「find」(見つける)(発見する)(探し出す)などの意味がもたれているようです。

写真を通じて、JAと組合員、利用者皆さまの距離がより近くなるように、「探して」「見つける」ことができるフォトコンテストになるように、皆さまからの写真をたくさんお待ちしております。

編集担当 難波 昭浩



フォトコンテスト  
ご応募は  
こちらから!



## 広報誌「ぱれっと」意味

水彩画や油絵を描くときに絵具をまぜあわせて色をつくる板のこと。特色ある地域の様々な情報をうまく調和させながら、地域と共に歩むという願いがこめられています。



JA岡山は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。